



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●ねじは2.0±0.5N・m (20±5kgf・cm)のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。部品の脱落、開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。

■取付け上のお願い

- アーム受けは、サッシを躯体に施工した後に、建付け、開閉、施解錠の調整をしてから取付けてください。アーム受けを取付けた後は、サッシの建付けや開閉作動性の調整が出来なくなります。
手順：サッシの取付け施工→サッシの調整→アーム受けの取付け
- アームを室内側に傾けて固定しないでください。開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。
- アーム受けには取付け向きがあります。正しい向きに取付けてください。開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。
- 取付け後、必ず小開口状態になることを確認してください。

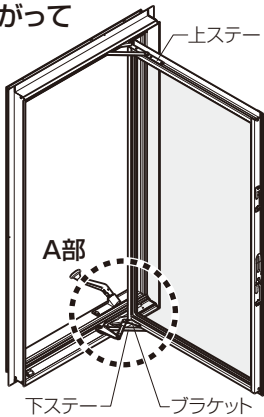
■部品・ねじ一覧表

アーム受け 部品袋		
④	①	⑤
アーム受け	アーム受け取付けねじ	アーム受け 取付け説明書 (本紙)
	皿小ねじ 緩み止め付き	

■障子の建付け調整

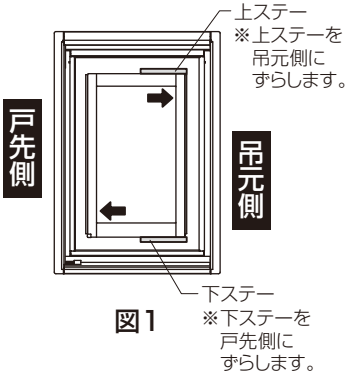
■障子の戸先が下がっている場合

- 上・下ステーと下棧のブラケットで調整してください。



●上下ステーの調整

- ※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。戸先が下がっている場合は、図1のようにステーの位置を調整してください。
- ※ステーの固定ねじを一度緩めて調整します。



●ブラケットの調整

- ※下のステーの位置を調整したら必ず、図2のようにブラケットの調整をしてください。下ステーを移動したのと同じだけブラケットを吊元側に動かしてください。(下ステーの位置を調整しない場合は、ブラケットの調整も不要です)(ブラケットは出荷時は長穴の中心で固定されています。)
- ※ブラケットの固定ねじを一度緩めて調整します。

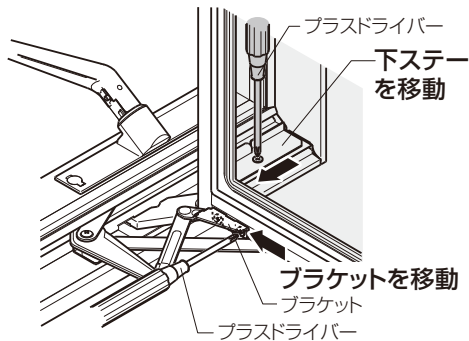
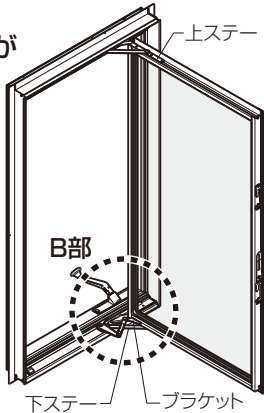


図2(A部詳細図)

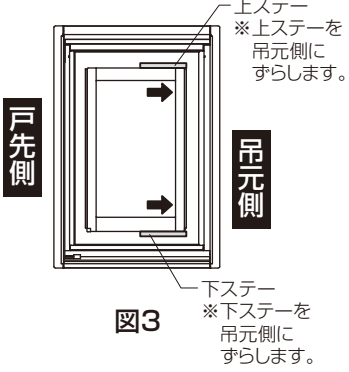
■ハンドルでの障子開けはじめが重い場合

- 上・下ステーと下棧のブラケットで調整してください。



●上下ステーの調整

- ※上・下のステーの固定穴は長穴になっています。ハンドルでの障子開けはじめが重い場合は、図3のようにステーの位置を調整してください。
- ※ステーの固定ねじを一度緩めて調整します。



●ブラケットの調整

- ※下のステーの位置を調整したら必ず、図4のようにブラケットの調整をしてください。下ステーを移動したのと同じだけブラケットを戸先側に動かしてください。(下ステーの位置を調整しない場合は、ブラケットの調整も不要です)(ブラケットは出荷時は長穴の中心で固定されています。)
- ※ブラケットの固定ねじを一度緩めて調整します。

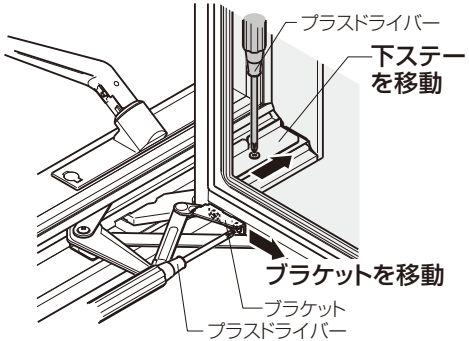
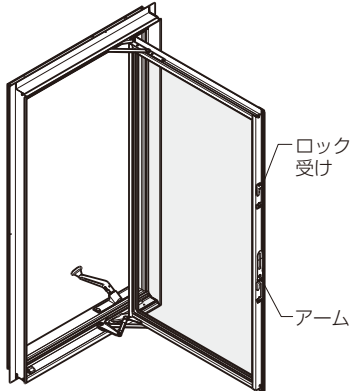


図4(B部詳細図)

■サブロックの操作が重い場合

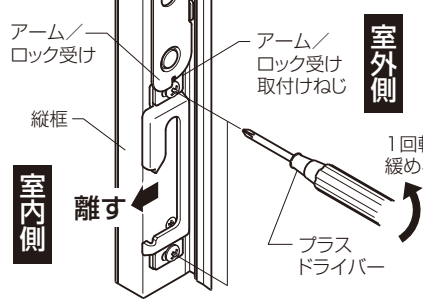
- アームとロック受けの位置調整またはロック受けスペーサーの高さ調整をしてください。



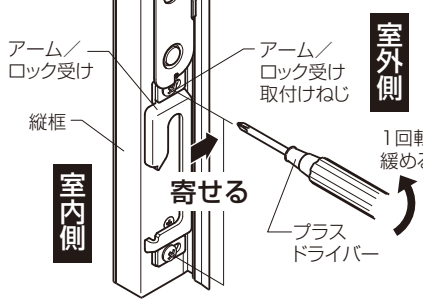
●アームとロック受けの位置調整

- ※枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でアームとロック受けを調整してください。
- ※アームまたはロック受け取付けねじを緩め(上下1回転)、位置を調整してください。
- ※ねじを緩めすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。

[サブロックの操作が重い場合]

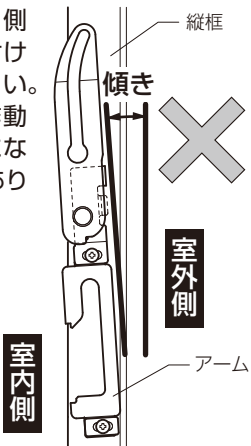


[サブロックの操作が軽い場合]



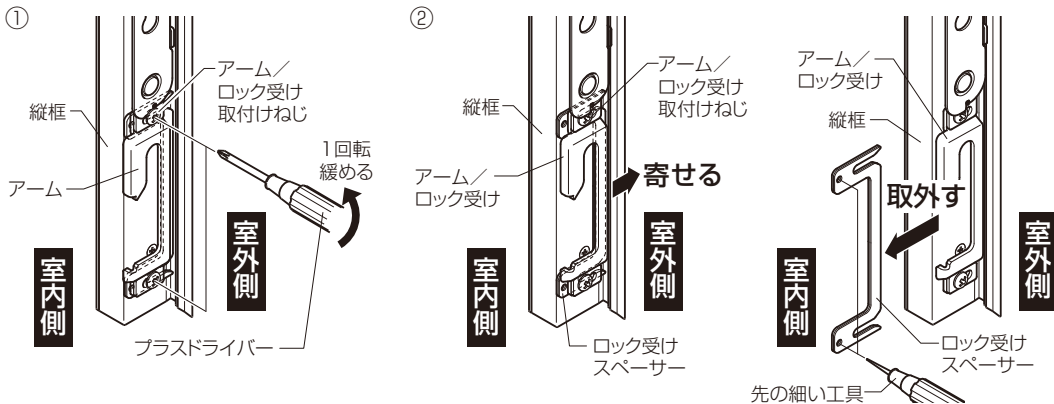
●お願い

- ※アームを室内側に傾けて取付けしないでください。開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。



●ロック受けスペーサーの高さ調整

- ※サッシ出荷時はロック受けスペーサーが2枚取付けされていますが、施工済の現場によっては1枚もしくはついていない場合もあります。
- ①アームまたはロック受け取付けねじを緩めます。(上下1回転)
- ※ねじを緩めすぎると、ねじ・スペーサーの落下、紛失につながります。
- ②アームまたはロック受けを室外側に寄せてから、スペーサーを取外します。
- ※取外しにくい場合は、先の細い工具でスペーサーの穴に引っかけて引抜いてください。(サーモスの場合のみ)
- ※スペーサーを1枚取外すと0.75mm、2枚外すと1.5mm、アームまたはロック受けが縦框側に寄ります。(防火戸FGの場合は1枚0.5mm)
- ③枠と障子が引寄り、ハンドル操作ができる範囲でアームとロック受けを調整してください。
- ※①～③の作業を全てのアームとロック受けで行ってください。



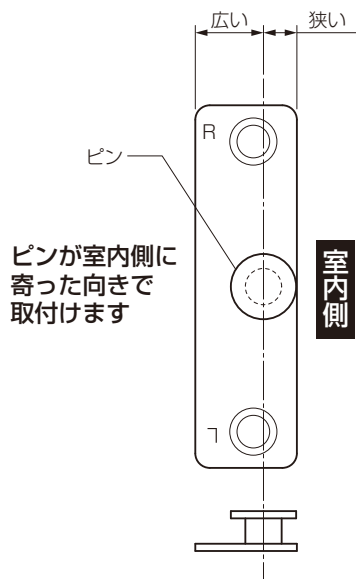
▲注意

●ねじは2.0±0.5N・m (20±5kgf・cm)のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。部品の脱落、開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。

■アーム受けの取付け

1 アーム受けの確認

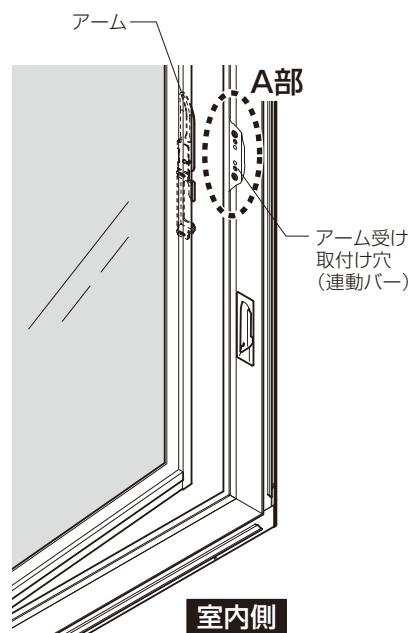
アーム受けには向きがあります。事前に確認してください。



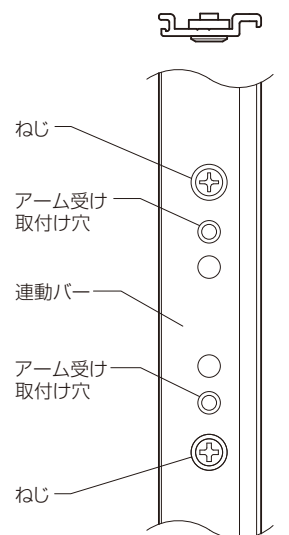
2 アーム受け取付け穴の確認

障子を開いて、縦枠の連動バーに空いているアーム受け取付け穴を事前に確認してください。

障子に付いているアームと同様の高さ位置に2つのねじがあります。ねじとねじの間に4つの穴があります。上下の2つにアーム受けを固定します。

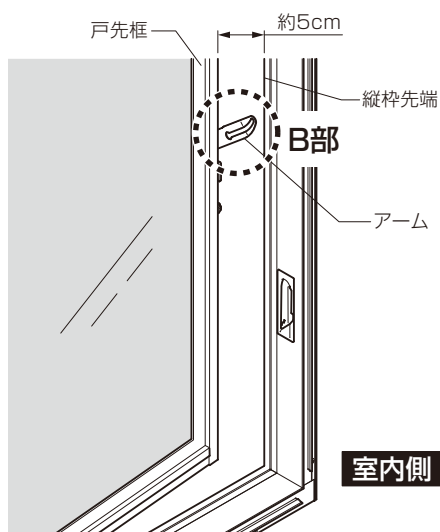


■A部詳細図

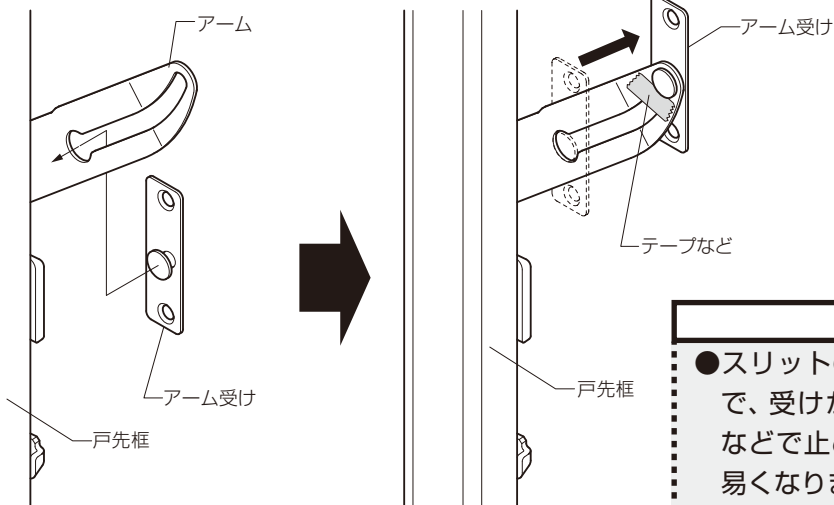


3 アーム受けの挿入

障子を5cmほど開いてアームを室内側に倒します。アームの穴に受けのピンを縦枠側から挿入して、スリットの上方にずらしします。



■B部詳細図



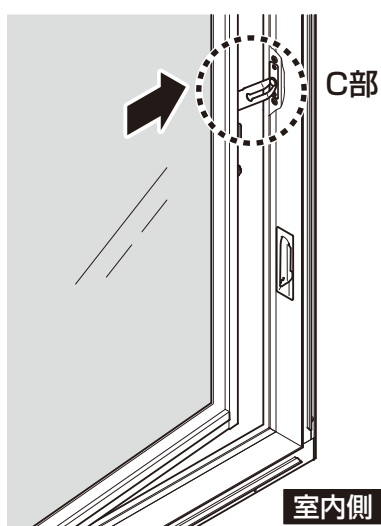
ポイント!

- スリットの上方にずらしたところで、受けが落ちないようにテープなどで止めておくとの作業がし易くなります。

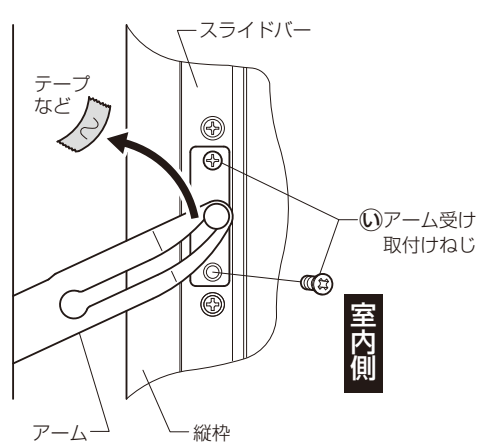
4 アーム受けのねじ止め

ねじ①1本で仮止めした後、2本目を止めてください。

※アーム受けのズレ止めのために張ったテープなどは、はがしてください。

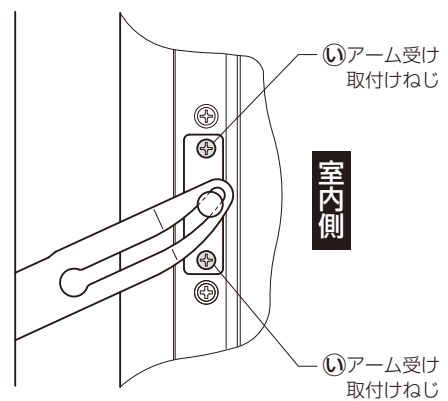


■C部詳細図



5 アーム受け取付けねじの本締め

障子を少し閉じて、もう一度アーム受け取付けねじを確実に締め付けてください。



▲注意

- ねじは $2.0 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($20 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$)のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキのないことを確認してください。部品の脱落、開閉不良、作動不良の原因になるおそれがあります。